

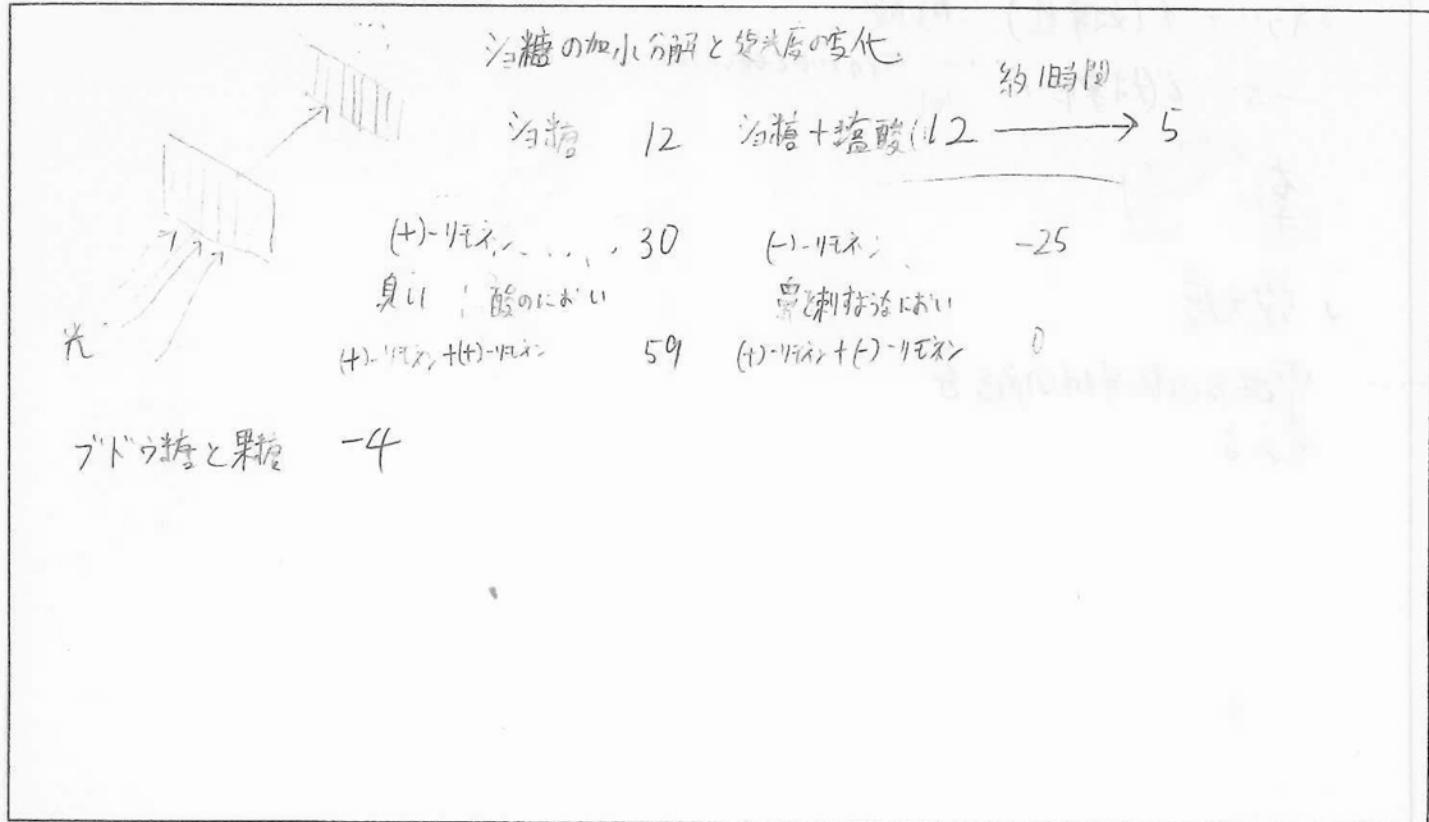
第6回サイエンス・コ・ラボ 実験レポート

手入翻訳 8

秀光・特進 1年 組 番 氏名

期日	平成29年度11月 4日(土)	テーマ	分子のキラリティ(対掌性)と旋光度の実験
場所	宮城野校舎 化学室II	指導教官	東北大学 高度教養教育・学生支援機構 助教 小俣 乾二 先生

1 実験記録(機材、手順、実験内容など)



2

① 実験から分かったことや疑問点

(+)-リボンの量を倍にすると旋光度も倍になる

(+)-リボンと(-)-リボンを同じ量混ぜると

感想

旋光度は0になる。

旋光度が0でもよいはある

② 興味深かった点

溶液の量は旋光度に比例していること

3 講義メモ

エナンチオマー

沸点、融点、化学的反応が同一の条件

東京工業大学 化学科 大北東

シアステオマー

沸点、融点、化学的反応が異なる

アーテ

(土) 日本 民主主義の基礎

日曜

官能學講

Ⅱ種学年 倉敷實業館

預算

・キラリティ(对掌性) (酒石酸)

一方だけ(对掌性)

キラリティが初めて確立された
物質



・旋光度

電磁波の振動面の角度を
変える。

4 感想

(+)-リモネンと(-)-リモネンをたずと旋光度が0になる理由が理解できませんでした。(+)と(-)が何を
意味するのかを知りたくなり、この性質が何に生かされているか知りたくなり、ほとんどわからなくて困りました。
この授業で理解を深められました。